

全建

労務費調査で検討会

技能者賃金 11年減少続く

全国建設業協会（浅沼健一会長）は4日、建設

技能労働者の賃金を中心とした処遇改善、人材確保・育成に向けて「公共事業労務費調査に関する検討会」を設け、初会合を開く。

公共事業労務費調査について、▽現行の仕組みや問題点▽公共事業の積算との関係▽技能労働者の賃金のあり方——などを議論、検討し、200

8年度内に成果をまとめ、公共事業労務費調査で算出された技能者など51職種の賃金は、実勢賃金の反映とされているが、建設技能労働者の賃金は低水準で推移し、11年にわたり減少傾向が続いている。調査では不良標準も発生しており、棄却率は40%近くに達している。

このような状況は、中削減などによる受注環境の悪化が建設会社の死活問題にまで発展し、それが賃金水準を含む技能労働者の処遇をさらに悪化

小建設業の雇用管理が適正に行われているとは言いがたく、その結果、建設産業を支える技能者の高齢化、若年者の不足などを招いている恐れがあるため、全建は、人材確保対策委員会の下に専門委員会として同検討会を設け、公共事業労務費調査に関する諸問題の検討に着手する。

全建では、公共事業の削減などによる受注環境の悪化が建設会社の死活問題にまで発展し、それが賃金水準を含む技能労働者の処遇をさらに悪化

同検討会の委員は次のとおり。

▽浦江真人（東洋大工学部建築学科准教授）▽平智之（ドミックス代表取締役）▽小池克彦（神奈川建設業協会労務委員長）（東建設代表取締役）▽石橋浩（岐阜建設業協会労働委員長）（石橋建設代表取締役）▽神崎弘光（全国建設業協会常務理事）。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

させることを危惧（きん）している。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

同検討会の委員は次のとおり。

▽浦江真人（東洋大工学部建築学科准教授）▽平智之（ドミックス代表取締役）▽小池克彦（神奈川建設業協会労務委員長）（東建設代表取締役）▽石橋浩（岐阜建設業協会労働委員長）（石橋建設代表取締役）▽神崎弘光（全国建設業協会常務理事）。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

同検討会の委員は次のとおり。

▽浦江真人（東洋大工学部建築学科准教授）▽平智之（ドミックス代表取締役）▽小池克彦（神奈川建設業協会労務委員長）（東建設代表取締役）▽石橋浩（岐阜建設業協会労働委員長）（石橋建設代表取締役）▽神崎弘光（全国建設業協会常務理事）。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

同検討会の委員は次のとおり。

▽浦江真人（東洋大工学部建築学科准教授）▽平智之（ドミックス代表取締役）▽小池克彦（神奈川建設業協会労務委員長）（東建設代表取締役）▽石橋浩（岐阜建設業協会労働委員長）（石橋建設代表取締役）▽神崎弘光（全国建設業協会常務理事）。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

同検討会の委員は次のとおり。

▽浦江真人（東洋大工学部建築学科准教授）▽平智之（ドミックス代表取締役）▽小池克彦（神奈川建設業協会労務委員長）（東建設代表取締役）▽石橋浩（岐阜建設業協会労働委員長）（石橋建設代表取締役）▽神崎弘光（全国建設業協会常務理事）。

同検討会は、国土交通省の「公共工事設計労務単価のあり方検討会」（座長・常田賢一、大阪大学工学部教授）の検討状況をにらみながら、08年度内に成果をまとめ、引き続き検討が必要課題については継続していく。

同検討会の委員は次のとおり。